

あなたの会社は大丈夫？
5年後も安心して経営を
続けるための経理

～社長さん！経理はプロに任せなさい！～



I 経理部門の今を知る

II 経理が崩壊する2つの要素

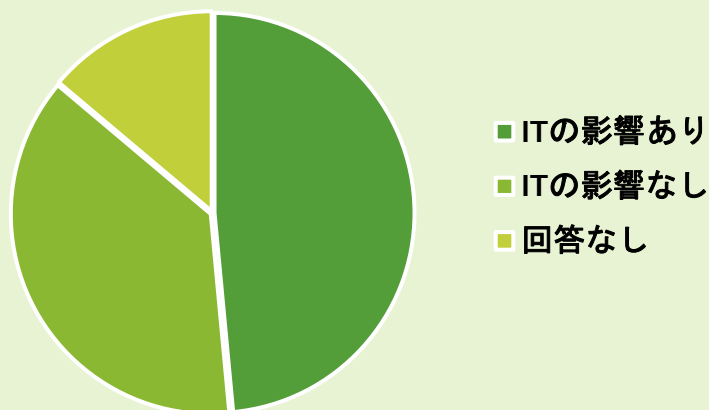
III 新たな解決方法、経理アウトソーシング

IV おわりに



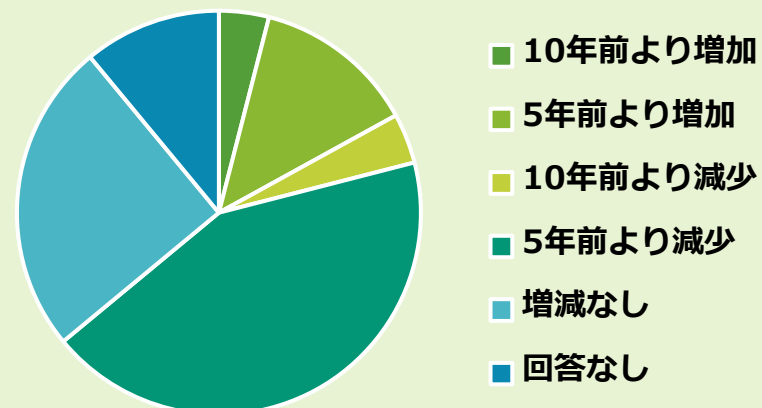
経理部門の人員は減少傾向にある

経理部門従業員が近年減少した
企業におけるIT影響の有無



出典：一般財団法人産業経理協会
「経理部の実態」に関するアンケート調査結果（平成29年12月）

経理部門従業員数の増減
(5年前・10年前)



出典：一般財団法人産業経理協会
「経理部の実態」に関するアンケート調査結果（平成29年12月）



クラウド会計やフィンテックによる各種システム連携、ITの進展により、業務が効率化。さらに、経営者が間接部門の人件費削減を意識したため、経理部門の人数が減少。より少ない人数で経理業務を行う体制の構築が必要となっている。

経理人材の採用コスト・人件費の増加

従業員規模別の各キャリアの初任給の設定

従業員数	新卒採用	中途 (未経験者)	中途 (経験者)
～29名	213,800円	225,000円	298,889円
30～49名	208,389円	230,089円	288,300円
50～74名	215,060円	234,696円	270,857円
75～99名	218,578円	256,667円	336,667円
100名～	221,625円	236,538円	296,083円

出典：株式会社アックスコンサルティング
月刊プロパートナー4月号

一人あたりの採用コスト

従業員数	正社員	パートスタッフ
～29名	833,000円	120,000円
30～49名	860,324円	139,220円
50～74名	830,000円	182,500円
75～99名	601,000円	97,778円
100名～	711,538円	96,556円

出典：株式会社アックスコンサルティング
月刊プロパートナー4月号

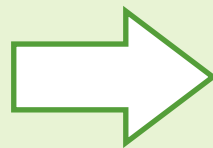


経理人材も他の職種の例に漏れず採用費、人件費が高騰。売上に直接貢献しない部門なので、頻繁に雇用と退職を繰り返すと経費がかさみ、経営を圧迫する。

Ⅱ. 経理が崩壊する2つの要素

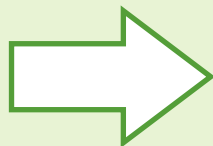
経理の崩壊には大きく分けて2つの要素があります。

ベテラン社員の退職



『属人化』の問題

引継ぎの失敗



『業務の分散』の問題

では、この2つについて詳しく見てみましょう。

Ⅱ. 経理が崩壊する2つの要素

『属人化』の問題

【経営者】



経理の仕事を
可視化しよう！

両者の壁

【担当者】



業務が複雑で
書き出せない…

経理の仕事は会社ごとに独自ルールを作って業務をしています。

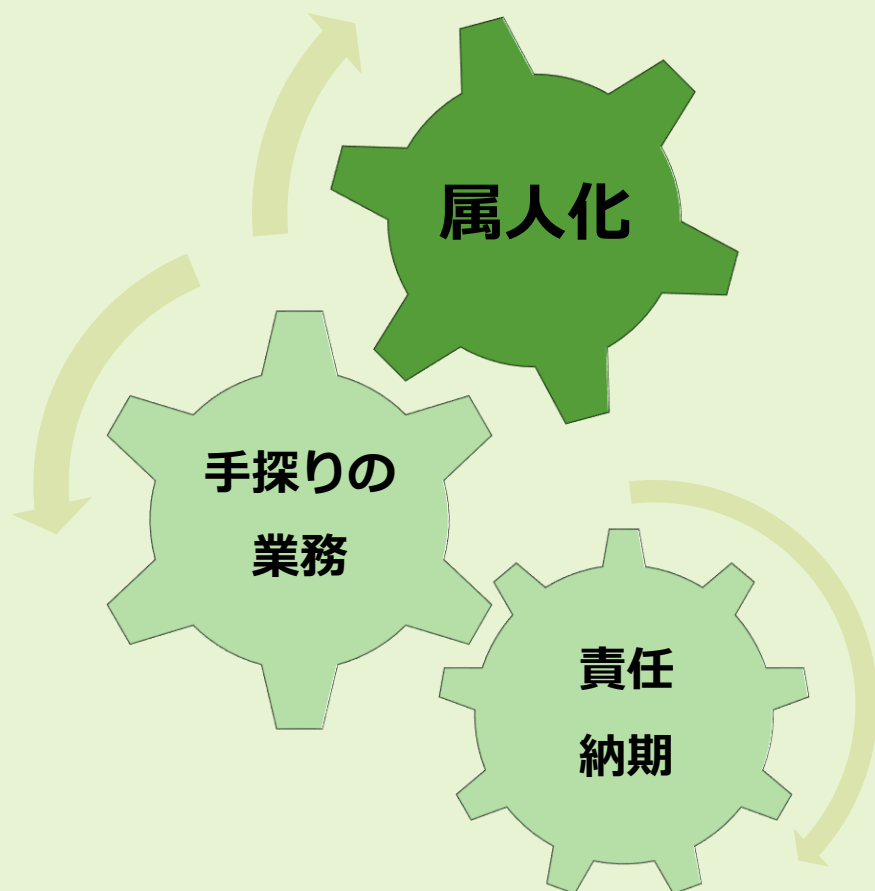
しかし、その内容をマニュアルとして残している会社は少なく、大半はベテラン社員の頭の中にだけ業務の全体像があります。

経営者が可視化をしようとしても、「業務内容が複雑で、私だけがわかる内容が多く、簡単に書き出すことはできません。」と担当者に突っぱねられてしまうこともしばしば。

こういった体制が『属人化』を招き、ベテラン社員が退職した時、経理が崩壊します。

Ⅱ. 経理が崩壊する2つの要素

『業務の分散』の問題



ベテラン社員が退職して、後任が雇えた時、次に注意しなければいけないのは後任の担当者の退職です。

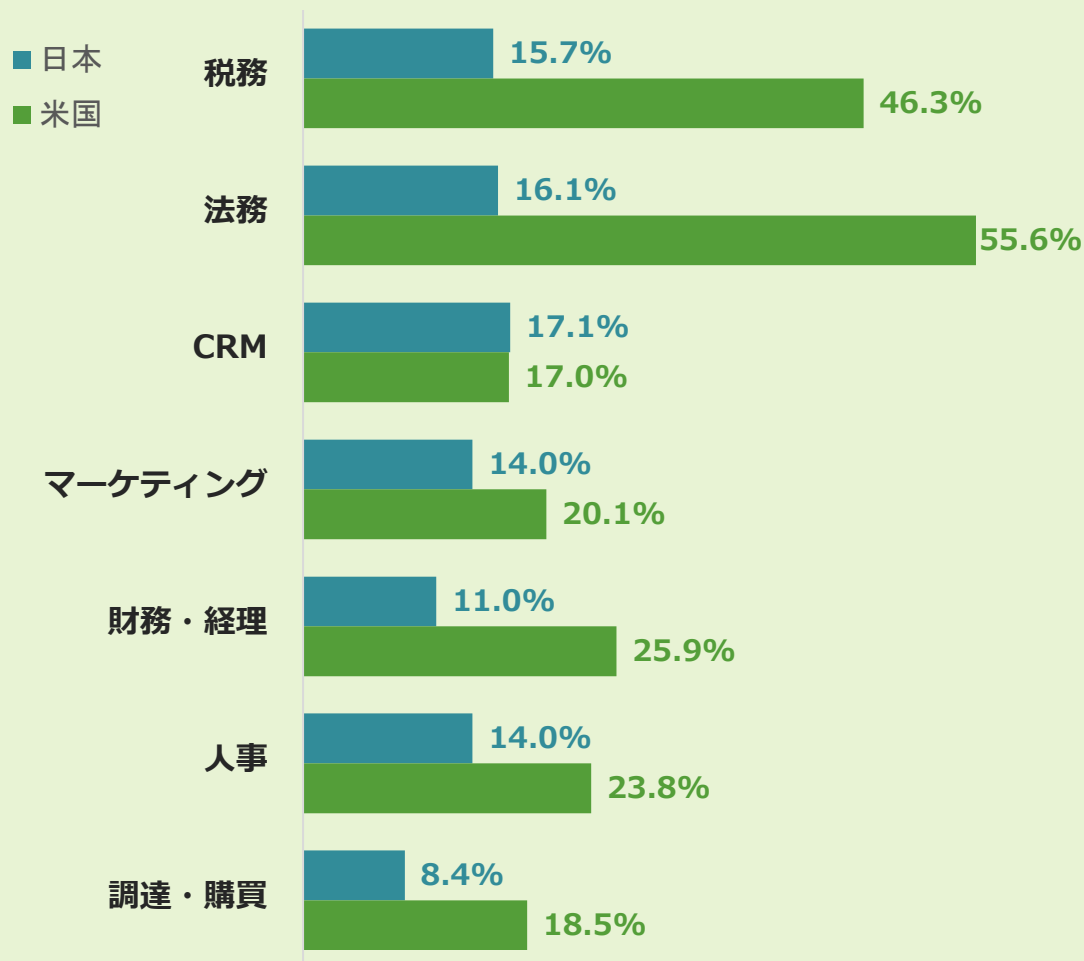
もし前任者から業務内容やルールを聞きそびれてしまい、対応が分からない業務があると、誰も頼れる人がいません。

このような状況になると後任の担当者の退職のリスク大です。特に中小企業では、後任の担当者が退職すると、その次の担当者に経理を教えるのは社長がほとんどです。

このような事態を避ける為には、退職前に業務を洗い出し、複数の人物、組織に経理業務を分散させる必要があります。

Ⅲ.新たな解決方法、経理アウトソーシング

業務のアウトソーシング化の日米比較



経理部門の安定は「組織の安定」です。

頼りになるベテラン経理社員も、突然何らかの理由で退職することが実際にあります。

そのような時に、組織の成長を止めないためにもいち早く経理業務をアウトソーシングして、業務を分散させましょう。

5年後、10年後も安心して経営できる会社を作っていきます。

出典：経済産業省委託事業「平成25年度我が国の経済社会の情報化・サービス化に係る基本整備（米国におけるサービス産業等のIT活用実態調査）」

いかがでしたでしょうか。経理の持続的かつ安定的な運営を実現するサービスがこの『経理のアウトソーシングサービス』です。

「経理担当のベテラン社員が退職して、誰に業務を任せればよいか困っている」
「経理事務・経理部門のコスト削減を行い、経営の合理化を図りたい」
「今は社員に経理を任せているが、将来的に社員以外に経理をお願いしたい」
「量は少ないが本業に支障をきたすので、経理業務に時間を割けない」

などのお悩みがございましたら、まずは一度弊社までお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先

記帳・経理アウトソーシングセンター：0120-196-964(直通) 担当：武居

また、サービスについてご興味をお持ちいただけました方は、
『<https://keiribu.com/>』へアクセスしてみてください。
より詳しい情報を掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。